



平成19年4月26日

各位

会社名 株式会社東京精密
 代表者名 代表取締役社長C.E.O.兼C.O.O.
 鈴木 貞勝
 (コード番号 7729 東証第一部)
 問合せ先 代表取締役業務会社執行役員社長
 太田 邦正
 TEL 0422-48-1011

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年11月16日の中間決算発表時に公表した業績予想を、下記の通り修正します。

記

〔連結業績予想の修正〕

19年3月期通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月16日発表)	100,000	16,500	9,200
今回修正予想(B)	100,000	13,600	8,700
増減額(B-A)	0	△ 2,900	△ 500
増減率(%)	0.0	△ 17.6	△ 5.4
前期(平成18年3月通期)実績	92,845	14,031	3,125

〔単独業績予想の修正〕

19年3月期通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年11月16日発表)	88,000	12,000	6,500
今回修正予想(B)	86,800	9,800	5,600
増減額(B-A)	△ 1,200	△ 2,200	△ 900
増減率(%)	△ 1.4	△ 18.3	△ 13.8
前期(平成18年3月通期)実績	82,539	10,423	2,414

〔修正の理由〕

(1) 連結売上高

- ・ 連結売上高は、半導体製造装置部門及び計測機器部門とも、概ね計画通り順調に推移しており、前回発表通り1,000億円を予想しています。

(2) 連結経常利益

- ・ 連結経常利益は、従来予想を上回る価格プレッシャーをうけて、新規参入製品を中心に、粗利益率が予想を下回ったことから、136億円を予想しています。

(3) 連結当期純利益

- ・ 連結当期純利益は、上記の連結経常利益の減額により、前回発表比約15億円のマイナス要因となりますが、一方で、平成19年4月1日付けの株式会社アクレーテック・マイクロテクノロジーの吸収合併により、法人税等調整額が約10億円減少し、連結当期純利益のプラス要因となります。
以上より、連結当期利益は、87億円を予想しています。

(4) その他

- ・ 配当につきましては、前回発表通り一株当たり期末配当金25円(中間配当金と合わせ年50円)を予定し、変更はありません。
- ・ 平成19年3月期は、連結経常利益と連結当期純利益が、前回予想比減額となりましたが、連結受注高につきましては、前回予想通り順調に推移中です。
また、在庫回転率の上昇など、財務面の改善もすすんでいます。引き続き、平成20年3月期の更なる業績拡大に注力してまいります。

以上

※ 将来の事象に係わる記述に関する注意

この発表文には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれています。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているもの又は暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されています。